



令和 7 年 1 0 月 2 日

中 部 地 方 整 備 局

名古屋港湾空港技術調査事務所

「第 28 回 民間技術交流会」(令和 7 年 9 月 4 日プレス投げ込み)

の取材に関するお知らせです。

第 28 回 民間技術交流会を開催します — 港湾・海岸整備における最新技術を紹介 —

令和 7 年 10 月 21 日に『第 28 回 民間技術交流会』を開催します。

先に別添にて聴講者を募集しております本交流会につきまして、取材に関するご案内を下記のとおりお知らせいたします。

今回は、約 100 名の方が参加を予定しています。交流会では、活発な意見交換が行われ、更なる技術の向上につながる情報共有の場となることを期待しています。

1. 日 時 令和 7 年 10 月 21 日（火） 13 時 00 分～17 時 00 分
2. 開催場所 ウィンクあいち 会議室 902
〒450-0002 名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38
3. 開催内容 別添資料をご参照ください。
(別添) 令和 7 年 9 月 4 日付「第 28 回 民間技術交流会の聴講者を募集します」
4. 取 材 取材いただける報道機関の方は、別紙「取材登録」をご参照いただき、電子メールにて期限までにお申し込みください。会場に記者席をご用意します。
期限：10 月 17 日（金） 17：00
交流会の資料は会場にて配布します。
当日の写真等をご希望の場合は、下記問合せ先へご連絡ください。
5. そ の 他 災害その他の理由により、開催できない場合は当事務所 HP でお知らせします
事務所 HP: <https://www.meigi.pa.cbr.mlit.go.jp/event/3020/index.html>
6. 配 布 先 中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、港湾空港タイムス、
港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス、マリタイムデーリーニュース
7. 問合せ先 中部地方整備局 名古屋港湾空港技術調査事務所
〒457-0833 名古屋市中村区東又兵衛町 1-57-3
宇野（うの） 古田（ふるた）
電話 052-612-9984

メール送信先：pa.cbr-info-gicho@mlit.go.jp

中部地方整備局 名古屋港湾空港技術調査事務所 事務局 宛

取材登録

第 28 回 民間技術交流会

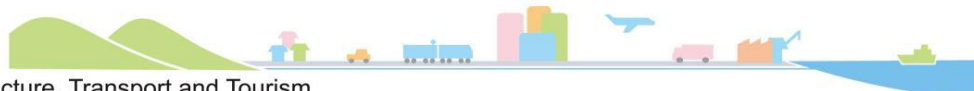
※取材をご希望の場合は、以下の記載事項を電子メールにて送付いただくようお願いいたします。

（メール本文に直接入力し、送付いただく形で問題ありません。）

【記載事項】

1. 報道機関名
2. 取材者（複数名の場合は代表者）
 - ①御氏名
 - ②御役職
3. 連絡先
 - ①電話番号
 - ②当日に連絡可能な携帯電話番号（3. ①と同じ場合は不要）

申込締切り：令和 7 年 10 月 17 日（金）17：00



令和 7 年 9 月 4 日
中部地方整備局
名古屋港湾空港技術調査事務所

第 28 回 民間技術交流会 の聴講者を募集します — 港湾・海岸整備における最新技術を紹介 —

10 月 21 日に第 28 回 民間技術交流会を開催します。本交流会は、民間事業者等により開発された有用な技術を紹介し、管内の港湾・海岸整備において積極的に活用することを目的に開催しています。開催にあたり、聴講者を以下のとおり募集いたします。本交流会を更なる技術の発展につながる情報共有の場としてご活用ください。

1. 日 時

令和 7 年 10 月 21 日(火) 13 時～17 時

2. 場 所

ウインクあいち会議室 902 〒450-0002 名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38

3. 発表技術（各発表技術の概要は別紙参照）

- ① ジオレジスタ法 -軟弱地盤処理工における品質評価手法-
【ハイグリップグラウト工法研究会】
- ② 水底土砂ポンプ浚渫工法
【あおみ建設株式会社】
- ③ 衛星 SAR を用いたインフラメンテナンス技術の紹介
【基礎地盤コンサルタンツ株式会社】
- ④ トリプルセリ矢工法
【株式会社神島組】
- ⑤ 複合構造を用いた臨港道路橋脚「シーコーム工法」
【五洋建設株式会社】
- ⑥ ジョインボンド工法と空港施設に対する補修材について
【日本ジッコウ株式会社】
- ⑦ エアモルタルによる水中施工
【麻生フォームクリート株式会社】

4. 募集要項

募集対象 : 建設関係者

募集人数 : 80 名※定員に達し次第、募集を締め切りとさせていただきます。

参加費用 : 無料

応募期間 : 令和 7 年 9 月 8 日(月) 10 時 ~ 9 月 26 日(金) 17 時

応募方法 : 下記申込フォームからご応募ください

申込フォームアドレス <https://forms.gle/jqniztzDe239NcBC7>

応募に関するお問合せ先 : 特定非営利活動法人 伊勢湾フォーラム

電 話 : 052-951-4882 E-mail : contact@isewanforum.org



申込フォーム
QR コード



5. その他

- ・本交流会は、CPDS(継続学習制度)認定講習会です(4ユニット付与)。
- ※全国土木施工管理技士会連合会以外の団体に提出する場合の方法等は提出先団体に事前にご確認ください。他団体が運営する CPD 制度に関する内容については回答いたし兼ねます。
- ・災害その他の理由により、開催できない場合は、当事務所 HP でお知らせします。
- ・取材に関するお知らせは、後日発表させていただきます。

6. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、港湾空港タイムス、港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

7. 問合せ先

中部地方整備局 名古屋港湾空港技術調査事務所
古田(ふるた)、上田(うへだ)
電話 : 052-612-9984

【会場周辺案内図】



地図出典：ウインクあいち HP



(別紙) 第 28 回 民間技術交流会 発表技術一覧(発表順)

No.	発表技術	発表者	技術の概要
1	ジオレジスタ法 -軟弱地盤処理工における品質評価手法-	ハイグリップ グラウト工法 研究会	本技術は軟弱地盤処理工の品質・出来形管理に関する技術である。 従来はボーリングコアによる確認であったが、施工直後に動的コーン貫入試験と電気検層を同時に実施し、動的コーン貫入試験より得られる N 値に相当する Nd 値と電気検層より得られる電気比抵抗を用いて早期に改良強度・範囲を推定することで、改良の不備や、それ以降の施工仕様の変更等につながる有益な情報を得ることができ、施工におけるリスク低減を図ることができる。(改良品質の向上)
2	水底土砂ポンプ浚渫工法	あおみ建設 株式会社	水底土砂ポンプ浚渫工法は「湖沼等」の閉鎖水域において、水底の表層部に堆積した細粒分を多く含む土砂を回収する工法です。底が開いた四角柱状の浚渫装置で水底の浮泥や堆積物を囲い、周辺に濁りが出ないように隔離した状態で、装置の中の堆積物をジェット水流により攪拌・懸濁し、それをポンプにより吸引する事で浚渫する特許工法です。特に窒素・リン等有害汚染物質は細粒分に吸着している事から、細粒分を効率的に回収することで、水底の環境が改善されます。
3	衛星 SAR を用いた インフラメンテナンス技術の紹介	基礎地盤 コンサルタンツ 株式会社	衛星 SAR を活用して港湾施設の維持管理を効率的に進める手法を紹介する。衛星 SAR は、対象とする港湾施設を広域に観測することが可能であり、定期的な観測データを整理することにより、目視点検では捉えることができない変状エリア(箇所)の抽出を行い、詳細点検箇所を優先的に決定することができる。
4	トリプルセリ矢工法	株式会社 神島組	本技術は、油圧セリ矢を 2 方向に開き岩盤を 3 分割に破碎できる工法であり、12,700t の割岩力を有する為小割も減少する。 また割岩方向を確定できるため影響範囲への制御が可能となった低振動・低騒音の工法である。

※「発表技術」及び「技術の概要」は発表者の申請のとおり記載している



No.	発表技術	発表者	技術の概要
5	複合構造を用いた 臨港道路橋脚 「シーコーム工法」	五洋建設(株)	近年、鋼管矢板井筒基礎により構築される臨港道路橋脚では、橋脚部および頂版部において過密配筋となり、さらに頂版部施工時には狭隘部への鉄筋架台の設置が必要となるため、安全性および作業効率の観点から合理化された施工技術が求められています。そこで、臨港道路橋脚の作業効率や安全性の改善を目的に、太径鉄筋の代替としてスタッドを有するI形鋼材を用いた橋脚および頂版の構築工法として「シーコーム工法」を開発しました。シーコーム工法は、一般的なフーチング基礎や杭基礎で構築される陸上橋脚のみならず、鋼管井筒基礎で構築される臨港道路橋脚においても適用可能な合理化施工技術であり、工期の短縮や省力化が可能です。
6	ジョインボンド工法と 空港施設に対する 補修材について	日本ジッコウ 株式会社	コンクリート増し打ちにおいては従来工法では旧コンクリート面をはつりまたはチップングを行い、新コンクリートとの圧着する工法でありました。ジョインボンド工法は新旧打継目一体化を目的とした繊維強化ポリマーセメント系接着工法となります。 港湾(河川)構造物などで防災(高潮・津波)対策としてコンクリート嵩上げ・巻立て・腹付け等で適用可能となります。
7	エアモルタルによる 水中施工	麻生フオー ムクリート株式 会社	一般に水の存在にぜい弱なエアモルタル(エアミルク)だが、配合設計や特殊材料添加により水の存在下においても、軽量性/充填性を生かした充填が可能となっている。

※「発表技術」及び「技術の概要」は発表者の申請のとおり記載している

第28回民間技術交流会

— 港湾・海岸整備における最新技術を紹介 —

名古屋港湾空港技術調査事務所では、有用な技術を積極的に活用していくため、その技術を発表していただく「民間技術交流会」を開催します。本交流会の開催にあたり聴講者を募集します。

1.日時 : 令和7年10月21日(火)13:00~17:00 (12:15~受付)

2.会場 : ウィンクあいち 会議室902 <〒450-0002名古屋市中村区名駅4丁目4-38 >

3.発表技術、スケジュール

13:00~13:10 開会

主催者挨拶／名古屋港湾空港技術調査事務所長

13:10~16:45 技術発表 (7題) 発表18分+質疑10分 ※途中休憩有

- ① ジオレジスタ法 -軟弱地盤処理工における品質評価手法- 【ハイグリップグラウト工法研究会】
- ② 水底土砂ポンプ浚渫工法 【あおみ建設株式会社】
- ③ 衛星SARを用いたインフラメンテナンス技術の紹介 【基礎地盤コンサルタンツ株式会社】
- ④ トリプルセリ矢工法 【株式会社神島組】
- ⑤ 複合構造を用いた臨港道路橋脚「シーコム工法」 【五洋建設株式会社】
- ⑥ ジョインボンド工法と空港施設に対する補修材について 【日本ジッコウ株式会社】
- ⑦ エアモルタルによる水中施工 【麻生フォームクリート株式会社】

16:45~17:00 閉会

4.応募要項

募集対象 : 建設関係者

募集人数 : 80名

参加費用 : 無料

応募期間 : 令和7年9月8日(月)10時~9月26日(金)17時

応募方法 : 下記HPの申込フォームからご応募ください。

申込フォームアドレス : <https://forms.gle/jqniztzDe239NcBC7>

注意事項 : お申し込みは先着80名様までとなり、募集人数を超えると申込フォームはクローズします。
フォームでの応募が可能な場合は、ご参加頂けますので、改めての通知はいたしません。

応募に関するお問い合わせ先 : 特定非営利活動法人伊勢湾フォーラム

E-mail : contact@isewanforum.org

申込フォームアドレスQRコード



5.その他

●本交流会は、CPDS（継続学習制度）認定講習会です（4ユニット付与）

※全国土木施工管理技士会連合会以外の団体に提出する場合の方法等は提出先団体に事前にご確認ください。他団体が運営するCPDS制度に関する内容については回答いたし兼ねます。

●災害その他の理由で開催できない場合は、当事務所HPでお知らせします。

☐ 会場までのアクセス ☐

JR名古屋駅桜通口からミッドランドスクエア方面 徒歩5分



【会場周辺地図】
地図出典:ウィンクあいちHP



国土交通省

中部地方整備局 名古屋港湾空港技術調査事務所 <担当 : 古田、上田 >

〒457-0833名古屋市中村区東又兵衛町一丁目57-3 ☎052-612-9984

<https://www.meigi.pa.cbr.mlit.go.jp/>



HP QRコード

